

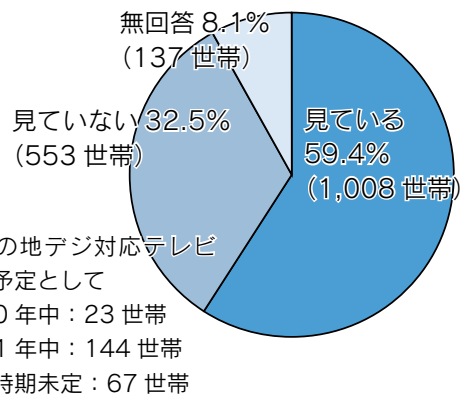
# 南あわじ市地域情報化に関する 市民アンケート

昨年11月、無作為に選出した市内5000人の方を対象に、市の現状と今後の情報政策のあり方を調査するための市民アンケートを行いました。

回収したアンケートは現在、兵庫県立大学応用情報科学研究科の有馬昌宏教授の研究室で集計と詳細な分析を行っています。分析結果は、今後の南あわじ市情報化推進計画の改訂時の資料に活用させていただきます。

今回は、結果の一部をご紹介します。

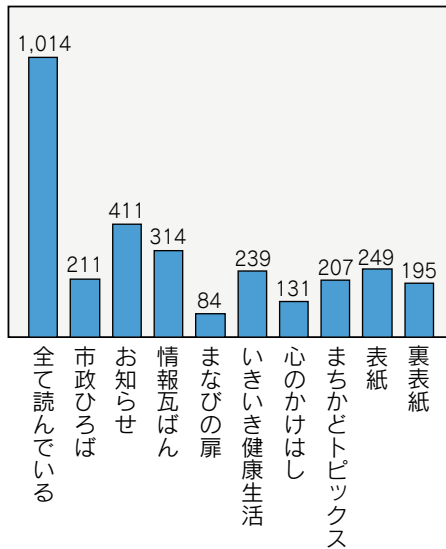
## ■地上デジタル放送(地デジ)をご覧になれますか？



2011年7月24日に完全移行となる地デジですが、エコポイントなどの関係で地デジ対応テレビが普及しています。しかし、市内での普及率は全国平均の69%よりは低く、59%に留まっています。

見ていないと回答した世帯では、エコポイントが利用できる2010年中に購入を計画している世帯はそれほど多くなく、地デジ移行直前の2011年購入予定の世帯が多いようです。購入時期が未定の世帯も多く見受けられます。やはり、家計への負担が大きいと考えられます。

## ■「広報南あわじ」でよく読むコーナーはどこですか？



多数の人が『全て読む』と回答しました。また、この質問とあわせて『広報で充実して欲しい情報』という項目にもご回答いただきました。充実してほしい情報の上位は、「福祉・介護に関すること」「年金に関すること」「病院、福祉施設情報」の3項目が挙げられました。

アンケート送付数：5,000人  
返信数：1,708人(回収率：34.2%)  
有効回答数：1,698人(有効回答率：34.0%)

※重複回答や未記入箇所がありますので、現在の数値に若干の誤差が生じています。アンケートにご回答いただいた皆さま、ありがとうございました。



## そのほかのアンケート結果

南あわじ市が検討すべき情報化政策の中で「優先度」「重要度」が高く、「コストが必要でも実施」との回答を頂いた項目…

- ① 独居老人が緊急時にCATV回線を使って通報できる
- ② 緊急時に市役所や消防署から各種緊急災害情報を受け取る
- ③ 要援護者情報を地図情報とリンクさせて、災害発生時に活用する

「優先度」「重要度」の高い項目…

- ① インターネットを活用して特産品を販売する
- ② 児童の登下校をセンサー等を活用して見守る
- ③ 自宅でインターネットを使って福祉サービスを受け取ることができる

これらのシステム構築がアンケート結果で上位の意見として寄せられました。

集計結果はまとめ次第、ホームページ等で公表させていただきます。



▲地域別説明会で説明を聞く参加者

2011年7月24日までにアナログ放送が終了すること

## 地デジ無料説明会

をうけて、2月15日から市内20か所で総務省(デジサポ兵庫)による地デジ無料相談会が開催されました。デジサポ職員による説明や地デジの魅力や聞いた参加者からは、アンテナの切り換え方法やケーブルテレビとの違いなど様々な質問が出されました。また、市内のショッピングセンターでも相談窓口が開設され、買い物帰りの方がテレビの買い替えなどについて、質問をしていました。



▲横断幕「下水道に接続しましょう」を持ってPR(1月27日朝、賀集八幡交差点で)

車で通勤する方々に「下水道への接続に」理解と関心を深めてもらうため、下水道加入促進課では1月27日朝、多くの人が行き交う賀集八幡交差点で「下水道に接続しましょう」と書いた横断幕を持って早期利用を促すPRを実施しました。今後も交通要所などで推進PRします。どうか下水道へのご理解と早期接続をお願いします。  
下水道加入促進課  
☎50・3041

## 交通要所で下水道接続をPR

## 入選!!

広報南あわじが、平成21年度兵庫県広報コンクールに入選しました。2月17日、広報研究会で表彰式が行われました。今後も皆さんから親しまれる広報紙作りに努めていきます。よろしくお願います。



▲入選した平成21年10月号の広報紙

## ふるさと納税

ご寄附ありがとうございます。

## ふるさと南あわじ応援寄附金

寄附状況の公表 (2月16日現在)

区分	件数	金額
南あわじ市内	326件	43,673,219円
市外(島内)	47件	5,871,000円
市外(島外)	195件	26,934,940円
合計	568件	76,479,159円

詳細は市のホームページに掲載しています

## 退職者

退職者(1月31日死去) 藤原英也(市民生活部火葬場)

## ふれあい市長室

ネットワークを広げることが大切

南あわじ市長 中田勝久

南あわじ市には、南淡B&G海洋センターがあり、先日、同センター体育館で、第30回全淡柔道大会が開催され、記念事業として、アテネ、北京五輪金メダリスト谷本歩実先生とロサンゼルス五輪金メダリスト松岡義之先生をお招きして「金メダリスト師弟柔道教室」を開催いたしました。

南あわじ市には、南淡B&G海洋センターがあり、先日、同センター体育館で、第30回全淡柔道大会が開催され、記念事業として、アテネ、北京五輪金メダリスト谷本歩実先生とロサンゼルス五輪金メダリスト松岡義之先生をお招きして「金メダリスト師弟柔道教室」を開催いたしました。

現在、南あわじ市の塚本教育長が、B&G全国教育長会議の会長を務めており、先般東京で開催されたB&G市町村長全国サミットに教育長共々参加してまいりました。

南あわじ市では、南淡B&G海洋センターがあり、先日、同センター体育館で、第30回全淡柔道大会が開催され、記念事業として、アテネ、北京五輪金メダリスト谷本歩実先生とロサンゼルス五輪金メダリスト松岡義之先生をお招きして「金メダリスト師弟柔道教室」を開催いたしました。

サミット終了後、国会議員の先生方や関係省庁などを訪問してまいりました。国の方針が固まりつつある中、南あわじ市が行っている少子対策や防災対策を説明し、低地対策や産業振興など、今後力を入れていきたい事業について助言をいただきました。また、俳優の杉良太郎さんを訪問いたしました。杉さんは、国際貢献にも力を入れておられます。外務省から「日ベトナム特別大使」の委嘱を受けると

もに、ベトナム政府からも「ベトナム日本特別大使」の称号をいただくなど、活発な活動が認められ、叙勲や大臣表彰を数多く受賞されております。杉さんが名誉会長を務める「アジア国際子ども映画祭」の南あわじ市での広域予選会開催について打ち合せをさせていただきました。先般も南あわじ市の、瓦産業の厳しさを話すと、二度、ベトナムや中国への輸出も検討すべき」とのご提案をいただき、早速、淡路瓦工業組合と調整に入っております。そう簡単にいく話ではありませんが、色々な方とお会いする中で、誠実に接しさせていただきますと、自分がないネットワークを紹介いただき、思わぬ進展があるように感じます。一人では何もできません。行動と継続をモットーに、沢山の人の出会い、尊敬しあうことにより、新たな展開が発生します。市民の皆様におかれましては、ご自身の仕事や南あわじ市の将来のため、ネットワークを広げ、連携していただきますようお願いいたします。